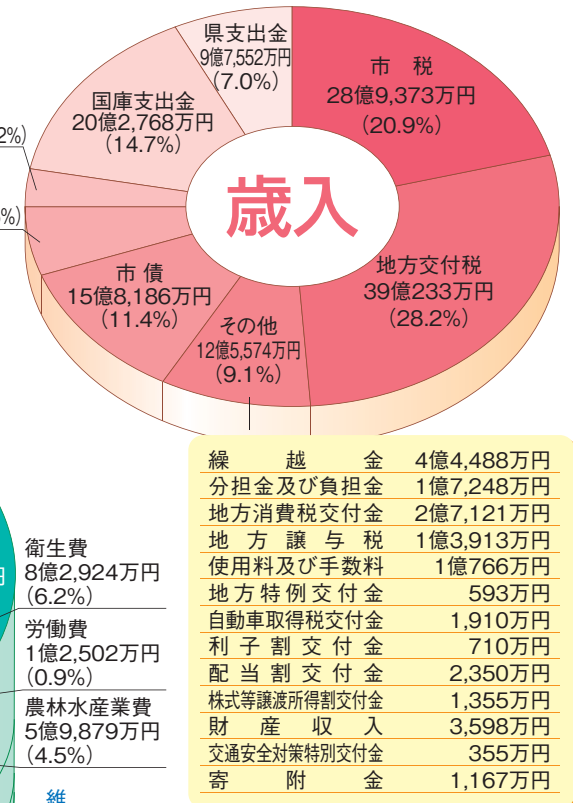


平成26年度の決算状況

市では年2回、市の財政状況を公表しています。今回は、平成26年度の一般会計・特別会計の決算状況をお知らせします。

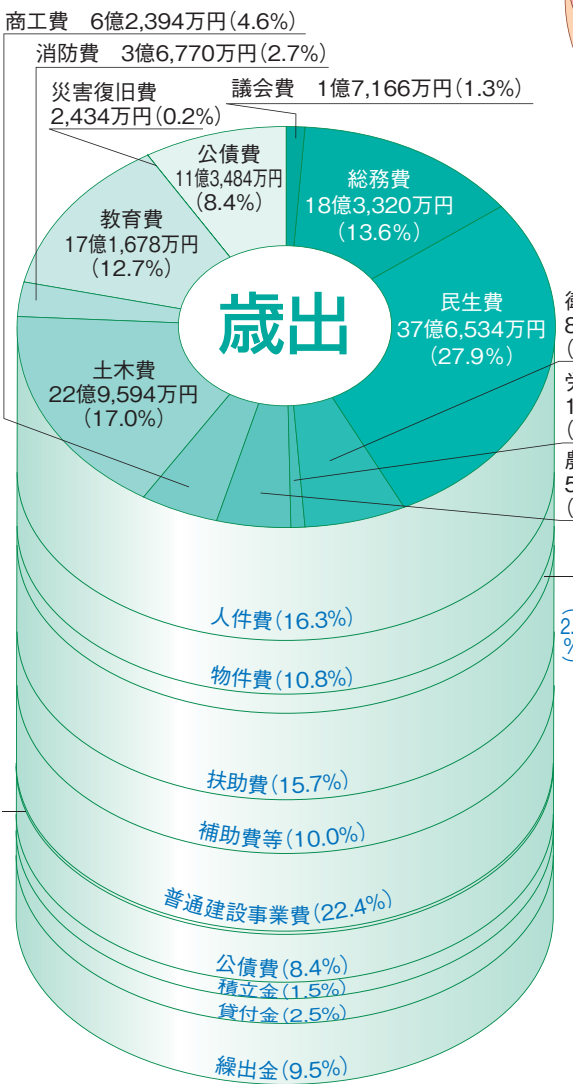
歳入総額
138億4,025万円



| | |
|-------------|-----------|
| 繰越金 | 4億4,488万円 |
| 分担金及び負担金 | 1億7,248万円 |
| 地方消費税交付金 | 2億7,121万円 |
| 地方譲与税 | 1億766万円 |
| 使用料及び手数料 | 1億766万円 |
| 地方特例交付金 | 593万円 |
| 自動車取得税交付金 | 1,910万円 |
| 利子割交付金 | 710万円 |
| 配当割交付金 | 2,350万円 |
| 株式等譲渡所得割交付金 | 1,355万円 |
| 財産収入 | 3,598万円 |
| 交通安全対策特別交付金 | 355万円 |
| 寄附金 | 1,167万円 |

一般会計

歳出総額
134億8,679万円



歳入
市税では、個人住民税および法人市民税が大きく減額となったほか、都市計画税についても賦課区域の見直しにより減額となったため、3・7%減の28億9,373万円となりました。なお、この市債や繰入金、繰入金などの自主財源総額は、基金からの繰入金が大きく増額となった影響から9・0%増の48億6,979万円となり、歳入全体に占める自主財源比率は3・1%増の35・2%となっています。

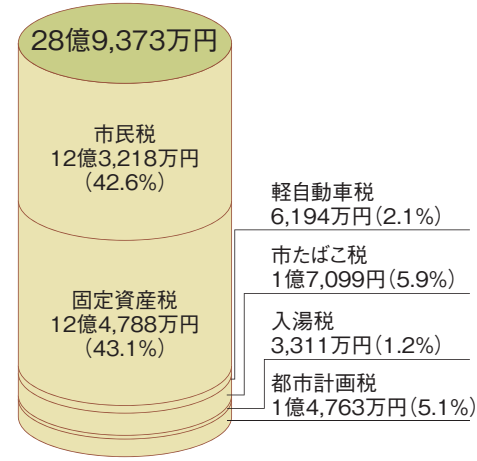
歳出
総務費では、財政調整基金への積立金が大きく減額となったことなどにより、12・8%減の18億3,320万円となりました。民生費では、障害福祉サービスに要する給付費や臨時福祉給付金の給付費などの増額により、5・0%増の37億6,534万円となりました。商工費では、勝山ニューホテルや勝山温泉センター「水芭蕉」の改修工費が増額となったことなどにより、10・6%増の6億2,394万円となりました。

土木費では、新体育館建設工事費や市道などの除排雪経費が大きく増額となったことなどにより、12・8%増の22億9,594万円となりました。消防費では、前年度に消防・救急無線デジタル化工事が完了したことなどにより、46・2%減の3億6,770万円となりました。

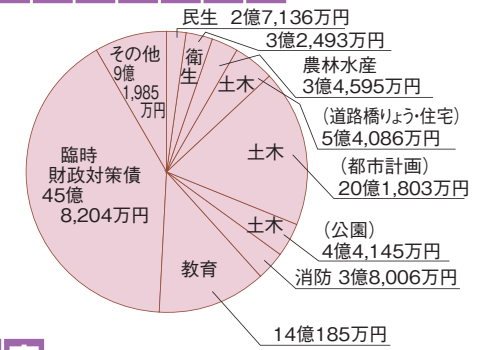
平成26年度末の財政調整基金残高は、前年度末から4億3,597万円の減額となり、総額13億7,544万円となりました。

一般会計の市債残高は、市債借入額が元金償還額を上回ったため、5・2%増の112億2,638万円となりました。また、このうち臨時財政対策債を除いた普通債などの残高についても5・0%増の66億4,434万円となりました。

市税の収入状況



一般会計 目的別市債残高



財政健全化判断比率

| | 実質赤字比率 | 連結実質赤字比率 | 実質公債費比率 | 将来負担比率 |
|-------------|--------|----------|---------|--------|
| 勝山市(速報値) | — | — | 8.3 | 69.0 |
| 早期健全化基準 | 14.13 | 19.13 | 25.0 | 350.0 |
| 県内9市平均(速報値) | — | — | 9.6 | 62.9 |

平成19年6月に公布された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律(財政健全化法)」に基づき、上記指標を算定しました。この指標は、地方公共団体の「早期健全化」と「財政再生」の2段階で財政悪化状況をチェックするとともに、特別会計や一部事務組合なども併せた連結決算により、地方公共団体全体の財政状況を明らかにしようとするものです。

勝山市はいずれの項目においても、早期健全化基準を大きく下回り、健全であるといえます。(詳しくは、市のホームページをご覧ください)

特別会計

| 会計名 | 歳入決算額 | 歳出決算額 | 差し引き |
|------------------|------------|------------|-----------|
| 育英資金 | 3,867万円 | 3,533万円 | 334万円 |
| 下水道事業 | 12億6,904万円 | 12億6,894万円 | 10万円 |
| 農業集落排水事業 | 1億4,763万円 | 1億4,763万円 | — |
| 簡易水道事業 | 1億773万円 | 1億773万円 | — |
| 国民健康保険 | 29億694万円 | 27億1,549万円 | 1億9,145万円 |
| 後期高齢者医療 | 3億725万円 | 3億591万円 | 134万円 |
| 介護保険(保険事業勘定) | 27億9,772万円 | 27億9,275万円 | 497万円 |
| 介護保険(介護サービス事業勘定) | 1,307万円 | 1,307万円 | — |
| 市有林造成事業 | 3,602万円 | 3,442万円 | 160万円 |

市有財産の状況

(平成27年3月31日現在)

| | |
|----------|--------------|
| 建物 | 14万6,246㎡ |
| 土地 | 2,251万4,253㎡ |
| 立木 | 24万1,133㎡ |
| 基金 | |
| 現金・預金等 | 22億8,501万円 |
| うち財政調整基金 | 13億754万円 |
| うちその他の基金 | 9億7,747万円 |
| 土地 | 2,951㎡ |
| 有価証券 | 3億1,400万円 |
| 出資金 | 3億7,805万円 |
| 債権 | 1億8,081万円 |

市債残高の状況

| 一般会計 | 112億2,638万円 |
|----------|-------------|
| 下水道事業 | 58億9,795万円 |
| 簡易水道事業 | 1億3,001万円 |
| 農業集落排水事業 | 15億2,731万円 |
| 市有林造成事業 | 4,232万円 |
| 合計 | 188億2,397万円 |

指標でみる財政事情

| 年度 | 勝山市(速報値) | 県内9市平均(速報値) | 勝山市 | 県内9市平均 | 全国平均 |
|------|----------|-------------|-------|--------|-------|
| 26年度 | 98.6% | 92.9% | 97.4% | 91.1% | 89.4% |
| 25年度 | — | — | — | — | — |

【実質赤字比率】一般会計などの実質赤字が標準財政規模(地方公共団体が自由に使える財源の標準的な収入)に占める割合。サラリーマン家庭に例えると、一年間の収入と支出の差引において赤字が生じた場合、赤字額が

【実質公債費比率】一般会計などが将来負担すべき債務が標準財政規模に占める割合。別居している子どもを持つ家庭に例えると、親のローンの残高、子どものローンの残高(親が肩代わりして返済する額)、家族の将来の冠婚葬祭などに係る経費の総額から、それに充てることができる財源(貯金など)を差し引いた額が、その年の給料総額に対してどの程度占めるかをあらわしたものです。

【将来負担比率】一般会計などが将来負担すべき債務が標準財政規模に占める割合。別居している子どもを持つ家庭に例えると、親のローンのほか子どものローンの親が肩代わりして返済している場合、その返済金の合計が、親の給料総額に対してどの程度占めるかをあらわしたものです。

【実質赤字比率】一般会計などが将来負担すべき債務が標準財政規模に占める割合。別居している子どもを持つ家庭に例えると、親のローンのほか子どものローンの親が肩代わりして返済している場合、その返済金の合計が、親の給料総額に対してどの程度占めるかをあらわしたものです。

【連結実質赤字比率】一般会計(一般会計などだけでなく、その他の特別会計を含む)の実質赤字が標準財政規模に占める割合。